

きたかみ

学校教育目標 未来を拓き、自ら学び、行動する、心豊かでたくましい生徒の育成

〒986-0201 石巻市北上町十三浜字小田 93 番地 1 TEL 67-2057 FAX 67-2004

令和 6 年 10 月 29 日 文責：鈴木国也

北上中ホームページのQRコードです ⇄

北上中学校 67-2057 夜間、休日、日直を置かない日 070-1306-2292



<学校評価アンケートの結果について>

9月にご協力いただきました、学校評価アンケートの結果と分析を載せます。教員と生徒、保護者それぞれを比較した形式でまとめました。全教員で、アンケート結果を分析し、検討しました。結果の報告が遅くなりまして、申し訳ございません。

アンケートの結果をしっかりと受け止め、分析し、今後の学校の取組に生かしていきたいと思います。貴重なご意見もいただきました。ご協力大変ありがとうございました。

1 学校教育目標について

ほとんどの項目において、教員、生徒、保護者を比較して、多少差異はあるものの、そう思う、だいたいそう思うと答えた人が多い状態です。

「創造」何事にもチャレンジし、新しい可能性を探している。という項目では、生徒と保護者より、教員が「もう少しできる」と思っている割合が、倍以上高い傾向にありました。

教員の思いと保護者の願いを共有し、生徒の成長につなげていきたいと思っています。

2 学校生活について

「学校が楽しい」と答えている割合は、生徒、保護者ともに8割程度であるが、楽しいと思っていない生徒がいることに着目すると、「授業がよく分かる」項目についても同様の割合になっています。今後もより生徒が分かりやすい授業を展開できるよう努めていきたいと思っています。

3 自分のこと・子どものことについて

(1) 「自主勉強に励む・勉強方法の工夫」については、4割以上の生徒ができていないと答えています。できている生徒とできていない生徒差がはっきりとしています。SNSの項目とも関連しますが、学力と直結する内容であり、学習に向かう時間の確保とそれを妨害している環境の適切な対応や自己管理が、早急に求められると思います。

(2) 「意見を出し合いながら、よりよい学校生活にしていこうとしている」では、教師は、まだまだ生徒の話し合いの質や内容を向上させたいと感じています。それだけ、北上中の生徒は、まだ自分の可能性を出せるということだと思っています。

(3) 「自分にはよいところがあると感じている」生徒は、7割以上ですが、それ以外の生徒は、そう感じていない面があり、学校生活の中で生徒のよい面を生かしていけるよう、努めていきたいと思っています。

(4) 「温かい心で人に接している」「いじめもなく友達と仲良く過ごしている」では、ほ

とんどの生徒や保護者は、そう思っていますが、少数ではありますが、そうでないと答えていることを重要視し、今後いじめのない全生徒が生き生き活動できる学校を目指していきたいと思います。

- (5)「学校からの各種配布物を保護者に渡している」の項目で、そうではないと答えている割合が多いです。学校からの配布物は必ずその日のうちにご家庭でも確認していただけますよう、学校でも指導しますのでよろしくお願いします。

4 学校の取組について

どの項目も、良好な数字となっています。しかし、少数でも「そうは思わない」と回答している点においては重要視し、今後も地域と連携したり、友達との学び合いを大切にしたり、生徒の活躍の場を設定したりしながら、進めていきたいと思います。

5 保護者のみの項目について

ご家庭でのSNSの約束についてですが、守れていないご家庭が4割以上を占めていました。生徒の割合は、1割であることを考えると、認識に差があるように思われます。もう一度、ご家庭で話し合いを持つなど、学習への影響も考え改善に向かうよう、お願いします。

6 生徒のみの項目について

普段ゲーム等の時間に2時間以上費やしている生徒は3割を超えています。1時間以内に抑える家庭での声掛けと学習に向かう習慣づくりをお願いします。学校では自己管理能力の育成にさらに力を注いでいきます。

アンケート結果全体を通して

生徒は、素直な生徒が多く、各行事においても、得意不得意があったとしても、協力して取り組む姿が多く見られます。

中学生という時期は、心も体も大きく成長し、同時に今まで考えていた自分の価値観が大きく変化する時期でもあります。

例えば、「総合的な学習は苦手だなー」と話していた生徒が「だんだん楽しくなってきた」という変化が現れたり、協力することが少なく、自分のことで精いっぱいだった生徒が、周りを見て自主的に掃除をしたりする姿が見られたりしています。

これは、小さな変化、成長かもしれませんが、大変大きな変化だと思います。

中学生の時期は、一つの出来事で大きく変化する時期でもあります、これから各学年は、職場体験学習、上級学校訪問、キャップハンディ体験等の貴重な体験をします。さらに、小学生といっしょに考え、まとめ、地域の人に発信する体験もします。このようなことを通して、将来の自分を見つめ、それに向かって自分自身が歩み始めると、自主的な行動が多くなり、学習に進んで取り組んだり、ゲームの時間を制限したりできることにつながっていくものと考えます。これからも、学校と保護者、地域が一体となり、生徒を育てていきたいと思います。よろしくお願いします。

貴重なご意見に感謝いたします

自由記述の項目では、保護者の皆様からご意見をいただきました。ご意見をいただいた方には、直接電話で改善方法や対応についてお話しさせていただきました。

大変貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。